

## 平成30年 業種別死傷災害発生状況(確定)

鹿児島労働局

	平成30年		平成29年		増減数	
	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
<b>全産業</b>	<b>1,936</b>	<b>13</b>	<b>1,961</b>	<b>21</b>	<b>-25</b>	<b>-8</b>
1 製造業	370	1	377	1	-7	0
1 食料品製造業	212		236	1	-24	-1
4 木材・木製品製造業	25		26		-1	0
9 窯業土石製品製造業	22		19		3	0
11～12 金属製品製造業	23		30		-7	0
13～15 機械機具製造業	24		21		3	0
上記以外の製造業	64	1	45		19	1
2 鉱業	5	0	6	0	-1	0
3 建設業	294	4	312	8	-18	-4
1 土木工事業	104	2	118	2	-14	0
2 建築工事業	162	2	143	4	19	-2
3 その他の建設業	28		51	2	-23	-2
4 運輸交通業	222	0	189	4	33	-4
1 鉄道・航空機業	10		11	2	-1	-2
2 道路旅客運送業	24		16		8	0
3 道路貨物運送業	187		161	2	26	-2
4 その他の運輸交通業	1		1		0	0
5 貨物取扱業	20	0	32	1	-12	-1
1 陸上貨物取扱業	8		10		-2	0
2 港湾運送業	12		22	1	-10	-1
6 農林業	87	3	103	1	-16	2
1 農業	39	2	55		-16	2
2 林業	48	1	48	1	0	0
7 畜産・水産業	94	1	104	2	-10	-1
8 商業	268	0	251	1	17	-1
1 卸売業	34		39		-5	0
2 小売業	195		183	1	12	-1
3 理美容業	3		3		0	0
4 その他の商業	36		26		10	0
9 金融・広告業	18	1	23	0	-5	1
11 通信業	23	0	18	0	5	0
12 教育・研究業	18	1	20	0	-2	1
13 保健衛生業	282	0	281	0	1	0
1 医療保健業	128		109		19	0
2 社会福祉施設	146		166		-20	0
3 その他の保健衛生業	8		6		2	0
14 接客娯楽業	105	1	115	0	-10	1
1 旅館業	22		27		-5	0
2 飲食店	50		60		-10	0
3 その他の接客娯楽業	33	1	28		5	1
上記以外の事業	130	1	130	3	0	-2
10 映画・演劇業	0		0		0	0
15 清掃・と畜業	74	1	70	2	4	-1
16 官公署	1		0		1	0
17 その他の事業	55		60	1	-5	-1
陸上貨物運送事業(4-3・5-1)	195	0	171	2	24	-2
第三次産業(8～17)	844	4	838	4	6	0

- ① 死傷者数は、当月末までに発生した労働災害の被災者を翌月7日締めで集計したもの。
- ② 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上災害によるもので、死亡者を含みます。
- ③ 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。
- ④ 陸上貨物運送事業及び第三次産業は、別計。

# 平成30年 業種別死傷災害発生状況（確定）

# （事故の型別）

鹿児島労働局

業種	年	平成30年		平成29年 (同月末)		増減数		増減率	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業		1,936	13	1,961	21	-25	-8	-1.3%	-38.1%
1 製造業		370	1	377	1	-7	0	-1.9%	0.0%
1 食料品製造業		212		236	1	-24	-1	-10.2%	-100.0%
4 木材・木製品製造業		25		26		-1		-3.8%	
9 窯業土石製品製造業		22		19		3		15.8%	
11～12 金属製品製造業		23		30		-7		-23.3%	
13～15 機械器具製造業		24		21		3		14.3%	
上記以外の製造業		64	1	45		19	1	42.2%	
2 鉱業		5	0	6	0	-1	0	-16.7%	
3 建設業		294	4	312	8	-18	-4	-5.8%	-50.0%
1 土木工事業		104	2	118	2	-14	0	-11.9%	0.0%
2 建築工事業		162	2	143	4	19	-2	13.3%	-50.0%
3 その他の建設業		28		51	2	-23	-2	-45.1%	-100.0%
4 運輸交通業		222	0	189	4	33	-4	17.5%	-100.0%
1 鉄道・航空機業		10		11	2	-1	-2	-9.1%	-100.0%
2 道路旅客運送業		24		16		8		50.0%	
3 道路貨物運送業		187		161	2	26	-2	16.1%	-100.0%
4 その他の運輸交通業		1		1		0	0	0.0%	
5 貨物取扱業		20	0	32	1	-12	-1	-37.5%	-100.0%
1 陸上貨物取扱業		8		10		-2		-20.0%	
2 港湾運送業		12		22	1	-10	-1	-45.5%	-100.0%
6 農林業		87	3	103	1	-16	2	-15.5%	200.0%
1 農業		39	2	55		-16	2	-29.1%	
2 林業		48	1	48	1	0	0	0.0%	0.0%
7 畜産・水産業		94	1	104	2	-10	-1	-9.6%	-50.0%
8 商業		268	0	251	1	17	-1	6.8%	-100.0%
1 卸売業		34		39		-5		-12.8%	
2 小売業		195		183	1	12	-1	6.6%	-100.0%
3 理美容業		3		3		0	0	0.0%	
4 その他の商業		36		26		10		38.5%	
9 金融・広告業		18	1	23	0	-5	1	-21.7%	
11 通信業		23	0	18	0	5	0	27.8%	
12 教育・研究業		18	1	20	0	-2	1	-10.0%	
13 保健衛生業		282	0	281	0	1	0	0.4%	
1 医療保健業		128		109		19		17.4%	
2 社会福祉施設		146		166		-20		-12.0%	
3 その他の保健衛生業		8		6		2		33.3%	
14 接客娯楽業		105	1	115	0	-10	1	-8.7%	
1 旅館業		22		27		-5		-18.5%	
2 飲食店		50		60		-10		-16.7%	
3 その他の接客娯楽業		33	1	28		5	1	17.9%	
上記以外の事業		130	1	130	3	0	-2	0.0%	-66.7%
10 映画・演劇業		0		0					
15 清掃・と畜業		74	1	70	2	4	-1	5.7%	-50.0%
16 官公署		1		0		1			
17 その他の事業		55		60	1	-5	-1	-8.3%	-100.0%
陸上貨物運送事業（4-3・5-1）		195	0	171	2	24	-2	14.0%	-100.0%
第三次産業（8～17）		844	4	838	4	6	0	0.7%	0.0%

業種	順位	事故の型	人数	割合
全産業	1	転倒	456	23.6%
	2	墜落・転落	404	20.9%
	3	動作の反動・無理な動作	229	11.8%
	4	はさまれ・巻き込まれ	216	11.2%
	5	切れ・こすれ	125	6.5%
製造業	1	転倒	94	25.4%
	2	はさまれ・巻き込まれ	70	18.9%
	3	墜落・転落	50	13.5%
	4	切れ・こすれ	45	12.2%
	5	動作の反動・無理な動作	33	8.9%
建設業	1	墜落・転落	115	39.1%
	2	はさまれ・巻き込まれ	35	11.9%
	3	転倒	23	7.8%
	4	飛来・落下	21	7.1%
	5	激突され	18	6.1%
陸上貨物運送事業	1	墜落・転落	65	33.3%
	2	転倒	31	15.9%
	3	動作の反動・無理な動作	24	12.3%
	4	はさまれ・巻き込まれ	19	9.7%
	5	激突	14	7.2%
林業	1	激突され	14	29.2%
	2	切れ・こすれ	9	18.8%
	3	崩壊・倒壊	6	12.5%
	4	墜落・転落	5	10.4%
	5	転倒	4	8.3%
第三次産業	1	転倒	266	31.5%
	2	動作の反動・無理な動作	150	17.8%
	3	墜落・転落	135	16.0%
	4	交通事故（道路）	54	6.4%
	5	はさまれ・巻き込まれ	49	5.8%
小売業	1	転倒	75	38.5%
	2	墜落・転落	31	15.9%
	3	動作の反動・無理な動作	23	11.8%
	4	交通事故（道路）	20	10.3%
	5	はさまれ・巻き込まれ	10	5.1%
社会福祉施設	1	転倒	53	36.3%
	2	動作の反動・無理な動作	47	32.2%
	3	墜落・転落	15	10.3%
	4	激突	7	4.8%
	5	激突され	6	4.1%
飲食店	1	高温・低温の物との接触	12	24.0%
	2	転倒	11	22.0%
	3	切れ・こすれ	11	22.0%
	4	墜落・転落	9	18.0%
	5	動作の反動・無理な動作	3	6.0%

- ① 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込日数が4日以上  
の災害によるもので、死亡者数を含みます。
- ② 陸上貨物運送事業及び第三次産業は、別計。

平成30年 死亡災害事例(平成30年12月31日現在)

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	平成30年 1 月	その他の廃棄物処理業	ゴミ収集員	男	22	2ヶ月	はさまれ、巻き込まれ	トラック	事業場敷地内において、パワーゲート付きトラックから塵芥車にゴミを移し替える作業を行うため、塵芥車の後部とトラックの後部を向い合せにし、塵芥車の回転板を回転させた。その直後、被災者がパワーゲート上で足を滑らせ、塵芥車の投入口に上半身が落ちたところに回転盤が降りてきたため、頭部を挟まれて死亡した。
2	平成30年 2 月	木材伐出業	伐木・造材作業員	男	67	10年	崩壊、倒壊	立木等	被災者が高さ約20m、胸高直径42cmの杉の木をチェーンソーにて伐倒していたところ、同伐倒木の背後に立っていた高さ11.4m、胸高直径18cmのばりばりの木がつるで繋がっていたため、伐倒した杉の木に引っ張られたばりばりの木の一部分が根本から倒壊し、被災者に激突したものの。
3	平成30年 2 月	農業	作業員	男	66	2年	激突され	その他の動力運搬機	事業主がハーベスタの運転中に、小段に乗り上げ、ハーベスタが転倒し、周囲で作業を行っていた被災者が下敷きになり、死亡したものの。当災害によるその他の負傷者は発生していない。
4	平成30年 5 月	建設業	とび工	男	50	5年	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	鉄骨スレート屋根葺き工場において、塔屋の組立作業をしていたところ、当該屋根を踏み抜いて、10.5m下のコンクリート床に墜落した。
5	平成30年 6 月	建設業	管理者	男	62	2年	墜落、転落	開口部	鶏舎新築工事において、現場の施工管理のため写真撮影を行っていたところ、コンベヤー設置用のピット開口部に足を踏み入れ、約1.7メートル下のコンクリート床に墜落した。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
6	平成30年 6 月	金融・広告業	営業職	男	34	12年	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	雨天時に社用バイクにて交差点を左折した際に、排水側溝のグレーチングに滑り転倒、左膝蓋骨骨折により入院加療していたが、約半月後に肺塞栓症により死亡した。
7	平成30年 9 月	農業	作業員	男	78	30年	交通事故(道路)	トラック	ドラグショベルをダンプトラックに載せ個人の畑に搬入するため、道路を走行中、ダンプトラック運転者が道路を間違え進入路を通り過ぎたことに気づき、ダンプトラックを後進させたところ、ダンプトラックの後方にいた被災者が公道上においてダンプトラックに轢かれた。
8	平成30年 10 月	接客娯楽業	作業員	男	52	20年	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	台風24号により、敷地内の倉庫のスレート屋根が破損したことから、破損部分をビニールシートで覆う作業を被災者を含む2名が行っていたところ、スレート屋根を踏み抜き約5.5メートル下のコンクリート床に墜落した。
9	平成30年 10 月	建設業	作業員・技能者	男	62	6年	崩壊、倒壊	地山、岩石	市道脇の斜面上にて、台風による倒木の撤去作業のため、被災者はクレーン車で支えられた立木をチェーンソーで伐倒する作業を行っていたが、立木の伐倒後、伐倒木から離れた場所で待機していたところ、待機場所上方の幅2.5メートル、高さ5メートルの斜面の土砂が崩壊し、生き埋めになったもの。被災者は約2時間後に救出されたが、現場で死亡が確認された。
10	平成30年 10 月	教育研究業	作業員・技能者	男	40	12年	その他	その他の環境等	17時13分ごろ、被災者が1人で虎の屋外展示場の清掃のため、屋外展示場に入場して虎に頸部等を咬まれ死亡した。通常は、虎を屋外展示場から屋内飼育場に移動させ、屋外と屋内を仕切る扉を閉めたことを確認してから作業員は屋外展示場に入場する。しかし被災者は、虎が屋外展示場に居るにもかかわらず屋外展示場に入場したものである。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
11	平成30年 10 月	建設業	車両系建設機械運転者	男	52	7年	墜落、転落	掘削用機械	勾配が22度から35度程度の地山の法面に被災者はドラク・ショベル(小型移動式クレーン仕様ではない)を運転し、重機搬入路の整形作業を行っていたが、現場監視を行っていた現場代理人が大きな音がしたのを聞き、音のした方を見ると被災者の運転するドラク・ショベルが転倒していた。その後すぐに被災者がドラク・ショベルの下から這い出てきて、病院に搬送されたが、搬送先の病院で搬送から約1時間後に死亡した。
12	平成30年 10 月	製造業	作業員・技能者	男	57	8年	激突され	立木等	畑地拡張のためチェーンソーによる杉の伐木作業を行っていたところ、伐倒した高さ約17m、胸高直径約23cmの杉が、伐倒木付近にいた被災者に激突し被災した。伐倒の際、杉が想定外の方向に倒れないよう高さ約4mの箇所をドラクショベルのバケットで押しながら伐倒を行っていた。また、チェーンソーを使用し伐倒を行っていた者、玉切りをしていた被災者ともにチェーンソーの特別教育を修了していなかった。
13	平成30年 11 月	水産業	作業員・技能者	男	63	11年	おぼれ	その他の装置、設備	被災者は海上で浮沈式イケス(20m×20m)の周囲に設置されている浮き(60cm×120cm)を清掃する作業をしていたが、同僚が被災者の姿が見当たらないことに気付き捜索したところ、作業場所のすぐ脇の海面にうつぶせで浮いている状態で発見されたもの。救出後病院に搬送され死亡が確認された。被災者は自身で紐を引っ張り膨張させるベルトタイプの救命胴衣を着用していたが発見の時救命胴衣は膨張していなかった。